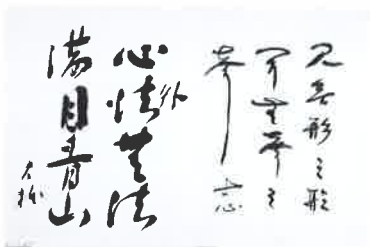


4. 仏涅槃図 (版木) 江戸時代 (版画) 平成時代



6. 柳宗悦直筆の仏書目録 (大正八年)と寄贈和書



2. 鈴木大拙 - 西田幾多郎合筆書 昭和四年



1. 洪巖宗演墨蹟「大拙」明治~大正時代

さらには優美な雰囲気を与える観音菩薩半跏像や東大寺大仏の蓮弁拓本、神仏が刻まれた江戸から明治時代の版木など同文庫が有する豊かな文化資産も出品します。中でも、時に精緻で時に素朴な表情を持つこれら版木は新刷の版画と共にこの度初公開となるものです。鈴木大拙をして松ヶ岡文庫の歴史に宿る心と文化の積層。その真が満ちた至高の扉が今開きます。この機会に是非ご覧下さい。

本展は松ヶ岡文庫の貴重な所蔵品から構成され、手稿や映像資料により大拙の姿を鮮やかに描きます。また大拙と松ヶ岡文庫に重なる絆にも注目しました。夫人ビアトリス・レーンや西田幾多郎、柳宗悦らに関わる書簡や墨蹟、柳を通して縁の生まれた民藝の作家らによる陶器などから、松ヶ岡文庫を巡り昭和の文化人達が深めた交流と信頼を展観します。

鈴木大拙没後五十年記念展の「心」
禅と仏教文化そして日本の精神を世界へ伝えた鈴木大拙(1870~1966)。その言葉は没後五十年を迎える現在も国境を超えて普遍に響き、顕彰と影響が止みません。
松ヶ岡文庫は約七万冊の仏教書籍を蔵する日本有数の文庫です。大拙により昭和二十年(1945)、北鎌倉に設立されました。また大拙が起居し研究と執筆を続けた場所として知られ、実際に用いた書籍や書簡などゆかりの品々を数多く伝えています。



3. 観音菩薩半跏像 南北朝時代



5. 焼メ流掛 飯茶碗 濱田庄司 昭和時代

主催◎多摩美術大学美術館
特別協力◎公益財団法人松ヶ岡文庫
協力◎岩波書店 春秋社 ノンブル社
後援◎鎌倉市教育委員会
助成◎公益財団法人朝日新聞文化財団

◆イベント3「学芸員によるギャラリートーク」
◇7月24日(日) ◇8月21日(日) ◇9月4日(日) 14時~14時45分
会場・当館展示室(事前申込不要、先着順)
参加費・無料※但し要入館料

会場・当館B1階多目的室
定員・100名(事前申込不要、先着順)
参加費・無料※但し要入館料

◆第一部「鈴木大拙の神秘哲学」
安藤 礼二氏(多摩美術大学教授)
若松 英輔氏(批評家・随筆家)
安藤 礼二氏(多摩美術大学教授)
伴 勝代氏(公益財団法人松ヶ岡文庫主任)

◆第二部「松ヶ岡文庫七十年のあゆみ」
大拙と柳宗悦、そして継承される仏教と東洋文化研究の精神

◆イベント2「トークセッション」
◇7月30日(土) 13時~15時30分

会場・当館B1階多目的室
定員・100名(事前申込不要、先着順)
参加費・無料※但し要入館料

◆第一部「鈴木大拙の思想」
末木 文美士氏(国際日本文化研究センター名誉教授)
「D・T・スズキとヒート世代」
重松 宗育氏(静岡大学・関西医科大学元教授)

◆9月3日(土) 14時~15時30分
「大拙先生が残されたもの―東西文化の見方から見えてくること」
新田 雅章氏(福井県立大学名誉教授)

◆7月3日(日) 14時~15時30分
「鈴木大拙の思想」

◆8月28日(日) 14時~15時30分
「D・T・スズキとヒート世代」

◆イベント1「講演会」
◇7月3日(日) 14時~15時30分

多摩美術大学美術館

休館日◎火曜日

開館時間◎10:00~18:00(入館は17:30まで)

入館料◎一般300円(200円) 大・高校生200円(100円)

※()は20名以上の団体料金 障がい者および付添者、中学生以下は無料

〒206-0033 東京都多摩市落合1-33-1 電話◎042-357-1251 <http://www.tamabi.ac.jp/museum/>

交通◎多摩センター駅 徒歩7分(京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール)

